新たな営農技術体系の実践による持続的生産

く対策のポイント>

産地が抱える課題解決のため、新技術を組み入れた**新たな営農技術体系構築の戦略づくり、データ駆動型農業の実践体制づくり、ノウハウの整理等の取** 組を支援します。

<政策目標>

農業の担い手のほぼ全てがデータを活用した農業を実践 [2025年まで]

く事業の内容>

1. 産地の戦略づくり支援

○ 労働力不足等の産地が抱える課題解決のため、担い手、ICTベンダー・農機メー カー、普及組織等の地域の関係者が参画し、新技術を組み入れた産地としての 新たな営農技術体系とその実践への道筋を明確化する取組を支援します。

2. データ駆動型農業の実践・展開支援

① データ駆動型農業の実践体制づくり支援

施設園芸産地を中心として、データに基づき栽培技術・経営の最適化を図る 「データ駆動型農業」の実践を促進するため、産地としての取組体制の構築や 農業者の技術習得等を支援します。

② スマートグリーンハウス展開推進

既存ハウスからデータ駆動型の栽培体系への転換に係る課題の調査、ノウハウ **整理、更なる低コスト化の検討等を支援**します。

<事業の流れ>

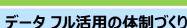


く事業イメージ>

開発 実証

新技術実装に向けた産地の戦略・体制づくり





農業者

- 環境モニタリング装置等から得られる産地 内の複数農業者のデータを収集・分析し、 生産性・収益向上に結びつける体制づくり
 - 農業者・企業・普及組織等による体制構築
 - データ収集・分析機器の活用 既存ハウスのリノベーション 等







普及組織

その他関係機関

既存ハウスからの転換にかかる課題の調査、 ノウハウ整理、更なる低コスト化の検討

[お問い合わせ先] (1の事業) 生産局技術普及課(03-6744-2218)

(2の事業) 生産局園芸作物課(03-3593-6496)